



例会報告	第1023回	2015年5月9日
例会日	水曜日 12:30~13:30	
例会場	ハピオ2F	
創立	平成5年10月19日	
会長	白木 幸久	
副会長	佐治 清	
幹事	行木 隼人	
事務局	河東郡音更町木野大通西7丁目1 ハピオ木野内	

起立：向平 敏孝SAA 点鐘：白木 幸久会長 開会宣言：向平 敏孝SAA

## 会長挨拶

帯広北クラブ・帯広東クラブ・音更クラブ合同例会の開会にあたり、3クラブを代表しまして、ご挨拶申し上げます。2014-15年ロータリー年度も残すところ、50日余りとなりました。細川会長は欠席ですけれども、西田会長も同じ思いだと思いますが、例会の開催がカウントダウンに入り、かなり安堵してきています。しかしながら、誠心誠意をモットーとします奥ガバナーにとりましては、ブラジル・サンパウロでの国際大会、他地区でのIM等々、まだまだ気が抜けないでことだと思います。本日は、ご出席いただき、まことにありがとうございました。振り返ってみますと、昨年1月アメリカ・サンジェゴでのガバナーミーティングでもって、ゲイリー・ホアンRI会長が「ライトアップ・ロータリー（ロータリーに輝きを）」をテーマに掲げたことに始まり、日本だけでも2千2百余りのクラブ、世界中では3万5千弱のクラブがそれぞれスタートしました。



当音更クラブでは、会長スローガンとしまして「一燈照隅（いっとうしょうぐう）」を掲げて活動を始めました。「一燈照隅」とは、おのおのがそれぞれ一本の燈火（ともしび）となって、「一隅を照らす」こと。一隅とは、自分が今いる場のことですから、家庭でも職場でも、どこにおいてでも自分が置かれている持ち場を、自ら明るく照らしていくことを意味しています。

この「一隅を照らす」は、天台宗を開いた伝教大師最澄が京都比叡山延暦寺での修行の心構えを説いたことばです。「一隅を照らす此れ則ち国宝なり」～国の宝はお金や財宝ではなく、「一隅を照らす」人物こそ何物にも代えがたい貴い国の宝だと言っているのです。

そのことを安岡正篤（やすおかまさひろ）は「一燈照隅・萬燈遍照（ばんとうへんしょう）」あるいは「一燈照隅・万燈照国（ばんとうしょうこく）」と述べています。安岡は「平成」という年号を起案しましたが、昭和を動かしたフィクサーとして知られています。天下国家をあれこれ論じるよりも、自ら一燈となり、ささやかであっても暗闇にあかりを燈すことが大事で、あかりが燈りさえすれば共鳴を呼んで、二燈三燈とあかりが燈り、萬燈にもなれば、優に日本の社会も変わると論じています。

今年度、十勝ロータリー奨学生になった諸君、大いに学んで「一隅を照らす」人物になって下さい。その志を抱いて、願わくば、ロータリアンになることを大いに期待しています。

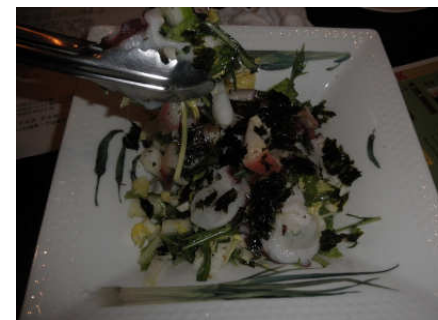
最後になりますが、当音更クラブの竹田会員に無理を言って、この場をセッティングいたしました。奨学生への支援とともに、3クラブ会員が交流を深め、友情の絆がますます強まりますよう願ひまして、会長挨拶といたします。

。

# 帯広北RC・帯広東RC・音更RC合同例会

十勝ロータリー奨学会 奨学金支給式





## 出席報告

出席委員長：長屋正宏

	例会数	計算に用いる会員数	ホームクラブ出席者	メイクアップ	欠席	出席率
前回	37	15				40.5%
今回	37	16				43.2%

## 次週からのプログラム

5月20日(水) クラブ協議会  
5月24日(日) 3クラブ合同植樹祭

12:30~

(理事会)  
(社会奉仕委員会)

## 例会案内

月曜日> 広尾RC:日高信金広尾支店2F <水曜日> 音更RC:ハピオ木野コミュニティーホール <木曜日> 足寄RC:足寄銀河ホール  
帯広南RC:北海道ホテル 帯広RC:ホテルノースランド帯広 清水RC:清水町中央公民館  
<火曜日> 芽室RC:めむろーど2FセミナーホールII 上士幌RC:川村会館 帯広西RC:北海道ホテル  
帯広東RC:帯広ワシントンホテル <金曜日> 帯広北RC:ホテルノースランド帯広

発行元：音更ロータリークラブ 会報委員会

広瀬、竹田、長屋、坂本、大和、佐藤、作田、黒川、平尾、田中、中西、高山

今月の会報担当者：広瀬